

# 食育指導案「箸の使い方」

実施日時 平成 年 月 日 ( : ~ : )

実施園 保育園 対象者 歳児 ( 名)

担当保育士 担当栄養士

- ねらい
- ・箸の正しい使い方を知る。(食と文化)
  - ・箸に興味をもち、正しい持ち方で使ってみようとする(食と文化)

## 展開

時間	活動内容	活動の目的	指導上の留意点
10:50	指導内容をきく。  箸の正しい持ち方のポスターを見る。  正しく箸を持つ事の利点や条件についての説明を聞く。	指導内容を知り、興味を持つ。  箸には正しい持ち方があることを知る。  練習してみる気持ちになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の指導の流れ(どんなことをするか)を説明する。 ※園児は、初めからテーブルごとにはいすに座る。</li> <li>・箸の正しい持ち方のポスターで、説明する。</li> <li>・説明の時に、箸の持ち方と、動かし方を実演する。</li> <li>・正しい持ち方をするとどんな良いことがあるか話す。 例】食べやすくなる・見た目も美しい</li> <li>・正しい持ち方になるには、指先に力を入れられること練習が必要な事を説明する。 例】スプーンが、鉛筆持ちになっているか、鉛筆で、紙に濃い線がかけるか等</li> </ul>
11:00	鉛筆を持ち、紙に線をひく。	手の準備運動をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点つなぎの用紙を使い、声掛けにあわせ、横線や縦線を引かせる。</li> </ul>
11:05	箸を1本持って動かしてみる。 上になる方の箸を持って上下に動かす。  次に下側の箸を持つ。	上の箸の持ち方を体験し、えんぴつと同じ持ち方である事に気づく。  下の箸は、動かさないで持つことを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>※箸を使用するので、危険がないよう安全に十分配慮しながら進める</li> </ul>
11:15	スポンジをつまんで移す。  消しゴムをつまんで移す。	実際に箸を使ってみる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者がスポンジや消しゴムを箸でつまみ、皿に移す実技を行い子どもに見せる。</li> <li>※スポンジの後消しゴムで練習する。物足りない時は、アルミホイルの玉も使用する。(担当保育士と相談)</li> <li>※スポンジに顔などの絵を描き、その絵の大きさ、表情等で箸を正しく持って、しっかりつまんでいるか確認できる。</li> </ul>
11:30	正しい手洗いの動作をする。  給食  まとめ	正しい手洗い方法を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しろくま忍者の手洗い忍法とらの巻を使用する。</li> <li>・実際に正しい方法で手を洗っているかを確認する。</li> <li>・園児の喫食状況を見学しながら、箸の正しい使い方を指導すると同時に、上手に食べているかを確認する。</li> <li>・ポスターを園内に掲示する。 ※親に見てもらい、正しい箸の使い方を家庭にも知らせる。食事時に話題にしてもらい、家庭でも続けてもらう。</li> </ul>

## <評価>

- ・箸の正しい使い方を知り、興味をもったか。

## <資料・教材>

- ・箸の使い方についてのポスター(A3サイズ3種) ・箸30膳 ・大人の箸1膳 ・カットスポンジ ・カット消しゴム
- ・アルミホイルの玉 ・アンパンマンパペット ・しろくま忍者の手洗い忍法とらの巻

保育園で用意:【(紙)皿(一人2枚) ・点つなぎ用の紙 ・鉛筆(B又は色鉛筆)】×人数分